



手足口病の流行が続いています

厚労省HP
「手足口病」



どんな病気？

手足や口の中などに水疱を伴う複数の発しんが出る感染症です。感染経路は、飛沫感染、接触感染、糞口感染(便と一緒に排泄されたウイルスが口に入って感染すること)が知られています。

夏を中心に毎年発生します。2歳以下が半数を占めますが、小学生でも流行的発生がみられることがあります。

症状は？

感染してから3~5日後に、口の中、手のひら、足底や足背(足の甲)などに2~3mmの水疱を伴う複数の発しんが出ます。発熱は約3分の1にみられますが、38℃以下のことが多く高熱が続くことは通常はありません。

多くの場合、数日間で自然に治りますが、まれに合併症を起こし、重症化することがあります。

治療方法は？

特別な治療方法はなく、症状に応じた対症療法を行います。まれに重症化することがあるため、経過観察をしっかりと行い、**高熱が2日以上続く、嘔吐する、頭を痛がる、視線が合わない、呼びかけに答えない、呼吸が速くて息苦しそう、水分が取れずにおしっこが出ない、ぐったりとしている**などの症状がみられた場合は、医療機関への受診をご検討ください。

予防方法は？

手洗いをしっかりとすることと、排泄物を適切に処理することです。手洗いは流水と石けんで十分に行い、タオルの共用は避けましょう。手足口病は、治った後も比較的長い期間便の中にウイルスが排泄され、また、感染しても発病しないままウイルスを排泄している場合もあると考えられることから、日頃からのしっかりとした手洗いが大切です。

定点種別	疾患名	状況	30週(7/22~7/28)		31週(7/29~8/4)	
			報告数	定点当り	報告数	定点当り
COVID-19	インフルエンザ	—	2	0.08	1	0.04
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	/	461	18.44	373	14.92
小児科	RSウイルス感染症	/	26	1.63	39	2.44
	咽頭結膜熱(プール熱)	—	4	0.25	2	0.13
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	—	53	3.31	33	2.06
	感染性胃腸炎	—	46	2.88	32	2.00
	水痘(みずぼうそう)	—	3	0.19	1	0.06
	手足口病	○	173	10.81	131	8.19
	伝染性紅斑(りんご病)	—	0	0.00	0	0.00
	突発性発しん	/	7	0.44	9	0.56
	ヘルパンギーナ	—	46	2.88	27	1.69
	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	—	0	0.00	0	0.00
眼科	急性出血性結膜炎	—	0	0.00	0	0.00
	流行性角結膜炎(はやり目)	—	3	0.60	11	2.20
基幹	細菌性髄膜炎	/	0	0.00	0	0.00
	無菌性髄膜炎	/	0	0.00	1	0.20
	マイコプラズマ肺炎	/	1	0.20	6	1.20
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	/	0	0.00	0	0.00
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	/	0	0.00	0	0.00

※「状況」欄は、疾患ごとの警報・注意報レベルを表示しています。表中の斜線は、基準値が定められていないことを示します。

○:警報レベル △:注意報レベル —:警報・注意報レベルなし